

平成25年第2回定例会（12月議会）

建設部 提出資料

建設委員会

【予算関係】

- 建設政策課 平成25年度12月補正予算案の概要について（建設部） 1

- 河川砂防課 平成25年度12月補正予算案の概要について・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

平成25年度12月補正予算案の概要について

平成25年12月4日
建設部

1 一般会計 △120,944千円

(1) 豪雨災害等への対応 110,000千円

事業名	事業費	事業内容
過年発生土木災害復旧事業費	110,000	被害を受けた土木施設の復旧を行う。

(2) 社会資本の整備 10,000千円

事業名	事業費	事業内容
公共事業	120,000	
国庫補助事業	110,000	(再掲)
県単独事業	10,000	
県単河川等環境維持修繕事業	10,000	地域住民に土砂災害危険箇所の周知を図り、認識の向上を図る。

(3) 給与費 △240,944千円

(4) 債務負担行為

事業名	事業費	事業内容
県単道路補修事業等	1,506,000	春期の道路補修等に要する経費
道路管理費等	208,788	土木施設等の維持管理業務委託等に要する経費
現年発生土木災害復旧事業	200,000	被災箇所の復旧に要する経費

2 特別会計

(1) 能代港エネルギー基地建設用地整備事業特別会計

①債務負担行為

事業名	事業費	事業内容
能代港灰捨場管理事業	308,000	灰捨場護岸建設等に要する経費

(2) 港湾整備事業特別会計

①債務負担行為

事業名	事業費	事業内容
マリーナ施設補修費	2,800	船舶運搬設備更新に要する経費

平成25年度12月補正予算案の概要について

平成25年12月4日
河川砂防課

1. 補正予算の概要について

- 1) 土砂災害危険箇所の周知のための注意看板設置等
- 2) 平成24年4月の風浪により被災した本荘海岸の復旧工事費の増工

2. 主な事業の概要について

- 1) 土砂災害危険箇所周知事業 10,000千円

(1) 事業目的

- ・土砂災害危険箇所に居住する住民が、自らの居住地が大雨の時などは土砂災害の危険性があることを認識し、気象情報等（大雨警報、土砂災害警戒情報）をもとにした迅速な避難行動につながるよう、土砂災害危険箇所の周知を実施する。

(2) 実施方針

- ・危険箇所マップの作成や既存ハザードマップ等を活用し、地域住民への説明会を開催することにより、危険箇所の周知を図る。
- ・人目に付きやすい場所に危険箇所を表示した看板を設置することにより、地域住民をはじめ不特定多数の人々に注意を促す。



(3) 補正予算の内容

- ・地域住民への説明会の実施
- ・注意看板の設置 48基

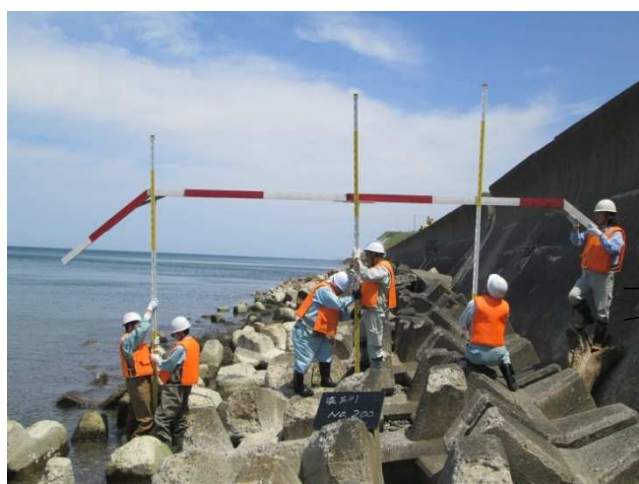
(4) 今後の計画

- ・補正予算による看板設置の効果や説明会での意見を踏まえ、注意看板の設置や集会所内への掲示など、より効率的な周知方法を検討する。
- ・平成26年度は、残りの危険箇所の住民を対象に周知を徹底するとともに、市町村と連携して土砂災害警戒態勢を整備する予定。

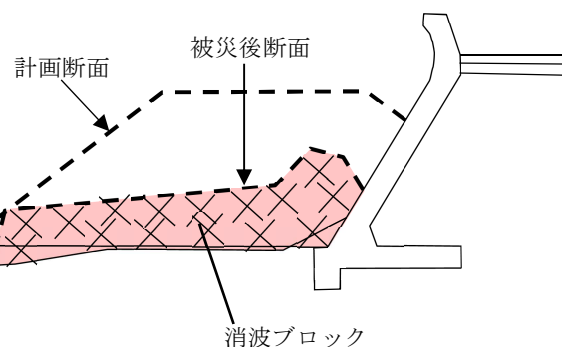
2) 過年発生土木災害復旧事業費

110,000千円

平成24年4月に被災した本荘海岸において、既設消波ブロックが想定以上に被災しており再利用できないため、新たにブロックを製作する。



消波工被災状況



平成24年の災害査定では、水中部分などのブロックの破損が確認出来ず、再利用可能と判断された。